

看護学科

第1回 平成29年7月22日(土)

担当教員	教授 播本 雅津子
テーマ	地域で活躍～保健師の仕事を紹介します
概要	保健師は地域で働く看護職です。主に市町村役場や保健所に勤め、健康診断・健康相談・家庭訪問などを通して、住民の健康管理を行います。赤ちゃんからお年寄りまですべての年齢の方が対象です。本学の卒業生約70人が北海道内各地で保健師として活躍しており、卒後研修にも力を入れています。オープンキャンパスでは保健師活動の実際を、ロールプレイを交えて具体的に紹介します。保健師の仕事に興味のある方はぜひご参加下さい。

第2回 平成29年8月19日(土)

担当教員	教授 土屋 陽子
テーマ	「わかつちゃいるけどやめられない、できない」を援助する!
概要	みなさんも本当はやればいいとわかっていることでも、なかなか十分に出来ないことってありますよね?いわゆる生活習慣病と言われる病気をもつ患者さんたちも、これを続ければ病気は良くなるとわかっているけどもうまく出来なくて、病気のコントロールが良くならない人がいます。「これなら自分ではできる!大丈夫!」と思えるように援助するにはどのように関われば良いのでしょうか?一緒に考えましょう!

第3回 平成29年10月14日(土)

担当教員	准教授 加藤 千恵子
テーマ	コミュニケーションスキル
概要	看護は対象の観察に始まり、観察で終わります。 対象に関心を寄せ、対象のニーズを知り、健康状態に合わせて、対象とともに「健康の保持増進」という目的に向かって歩んでいきます。その過程は対象が無理なく実現できるようにその人に合わせたスモールステップの過程であることと確かな支えが重要となります。 対象と関わる際の五感を意識したコミュニケーションのあり方について短い時間ですが体感しましょう。